

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	MC-ACE スプレー
会社名	マコト化学工業株式会社
住所	東京都大田区北千束 2-9-2
電話番号	03-3782-5992
作成日	2013年9月6日

2. 危険有害性要約

GHS分類

[物理化学的危険性]	可燃性／引火性エアゾール 引火性液体	区分1 区分外
[健康に対する有害性]	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：ガス） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じん） 急性毒性（吸入：ミスト） 皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 呼吸器感受性 皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 吸引性呼吸器有害性	区分4 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 区分1（神経系） 区分3（麻酔作用） 区分2（肝臓、肺、甲状腺） 分類できない
[環境に対する有害性]	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	区分3 区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

[危険有害性情報]

極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
飲み込むと有害
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
臓器(神経系)の障害
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または、反復暴露により臓器(肝臓、肺、甲状腺)の障害のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き：【安全対策】 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
 加圧容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後、手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋を着用すること。

【応急措置】 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 暴露した場合：医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
 特別な処置が必要である。（このラベルの「4. 応急措置」を参照）
 口をすすぐこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

【保管】 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
 日光から遮断し、50℃以上の温度に暴露しないこと。
 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

[単一・混合物の区別] 混合物(エアゾール製品)

内 容 成 分 (化 学 名 又 は 慣 用 名)	含 有 量 [w t %]	化 学 式	化 審 法 官 報 公 示 整 理 番 号	CAS No.	PRTR 法 政 令 番 号	安 衛 法 通 知 対 象 物 政 令 番 号	
内容液	鉱油	40～50	非公開	—	非公開	非該当	該当
	2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	≤1	C ₁₅ H ₂₄ O	3-540 9-1805	128-37-0	非該当(※)	262
噴射剤	ブタン	35～45	C ₄ H ₁₀	対象外	75-28-5 106-97-8	非該当	482
	プロパン	5～15	C ₃ H ₈	対象外	74-98-6	非該当	非該当

※2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾールは第一種指定化学物質であるが、含有量が1%以下の為非該当となる。

4. 応急措置

[吸入した場合] 直ちに患者を毛布等にくるみ安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、医師の手当を受ける。

[皮膚に付着した場合] 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。もし皮膚に痛みが残ったり炎症を生じた場合には医師の手当を受ける。

[眼に入った場合] 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外す。眼の裏まで完全に洗う事。眼科医の手当を受ける。

[飲み込んだ場合] 吐き出させると気管支に入っかえって危険が増す。直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

[消火剤] 粉末 炭酸ガス 泡 砂

[特定の危険有害性] 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

[消火方法] 消火活動には距離を十分にとること。
初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。
棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。
大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

[消火を行う者の保護] 消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項] 風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用し、皮膚への付着や、蒸気の吸入に注意する。

[環境に対する注意事項] 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

[除去方法] 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
着火衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

[取扱い] 火気と高温に注意。
炎や火気の近くで使用しないこと。
火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
火の中に入れていないこと。
取り扱い換気のよい場所で行うこと。
通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

[保管] 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となる場所に置かないこと。
子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度と許容濃度]

内 容 成 分 (化学名又は慣用名)	管理濃度 (ppm)	許容濃度	
		日本産業衛生学会 (ppm)	ACGIH(TWA) (mg/m) ³
内容液(BHT)	未設定	未設定	2
噴射剤	ブタン	未設定	1800
	プロパン	未設定	1800

[設備対策] 屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

[保護具] 呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具：耐油性保護手袋など不浸透性のもの。
眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面等を着用する。
皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。
適切な衛生対策：マスク等の吸収缶の交換は破過時間に応じて、適宜又は定期的に行う。

成分名 化学名	呼吸器感作性 又は 皮膚感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	標的臓器/ 全身毒性 (単回暴露)	標的臓器/ 全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器 有害性
BHT	呼吸器感作性： 区分外 皮膚感作性： 区分1	区分外	区分外	区分外	区分1 (神経系)	区分2 (肝臓、肺、 甲状腺)	分類できない
鉱油	呼吸器感作性： 区分外 皮膚感作性： 区分1	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

噴 射 剤

プロパン：

急性毒性 10,000ppm/短期暴露何ら症状もなし。
100,000ppm/短期暴露数分吸入後にめまい。

刺激性 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。
目 粘膜等を刺激する。

その他 若干の麻酔性有り

ブタン：

急性毒性 吸入 マウス LC₅₀ 680mg/l(約26%)2時間
ラット LC₅₀ 658mg/l(約26%)4時間

刺激性 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。
目 粘膜等を刺激する。

その他 若干の麻酔性有り

(注)LD₅₀ : 半数致死量 (mg/kg) LC₅₀ : 半数致死濃度 (ppm)

12. 環境影響情報

内 容 液

成分名	水生環境有害性(急性)	水生環境有害性(慢性)
BHT	区分1	区分1
鉱油	分類できない	分類できない

噴 射 剤

プロパン、ブタン

現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

14. 輸送上の注意

国 連 分 類：(クラス 2.1) 高压ガス

国 連 番 号：1950

注 意 事 項：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送：船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送：航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外(液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法：危険物第4類 第3石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法：施行令別表1-4、危険物・引火性の物

施行令別表1-5、危険物・可燃性のガス：プロパン、ブタン

法第57条、施行令第18条名称等を表示すべき危険物及び有害物：非該当

法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき危険物及び有害物：

2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール、鉱油、ブタン

P R T R 法：非該当

船 舶 安 全 法：危険物(高圧ガス)

航 空 法：高圧ガス

16. その他情報

注 釈

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手出来た資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証もなすものではありません。

全ての化学製品には、未知の危険性や有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは、保障出来ません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策をご実施の上、取扱い願います。

引用文献

・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会

・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社

その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。